



インドネシア・ハサヌディン大学にて国際セミナー開催

【概要】

都市工学部門の教員が、インドネシアのハサヌディン大学（Hasanuddin University）工学部土木工学科と共同で、本学理工学部国際パートナーシップ教育プログラムの ASIAN Collaborative Seminar Program for Smart Lowland 2023 をハイブリッド形式で開催しました。

【本文】

令和5年9月4日(月)から8日(金)に、インドネシアのハサヌディン大学工学部土木工学科において、本学理工学部国際パートナーシップ教育プログラムとして ASIAN Collaborative Seminar Program for Smart Lowland と題した国際セミナーをハイブリッド形式で開催しました。

本セミナーは低平地ならびに関連分野について連携大学とともに学び、賢く低平地を利用する”Smart Lowland”の構築に貢献できる国際人材育成を目的としています。参加大学はインドネシアのハサヌディン大学、タドゥラコ大学、サムラトランギ大学、ランブンマンクラット大学、ベトナムのカントー大学、そして佐賀大学の5大学でした。対面参加者は30名ほどでしたが、オンラインを含めると聴講者は140名で、各大学の10名の教員から話題が提供されました。佐賀大学からは学生5名が対面参加し、講義聴講、グループディスカッション、プレゼンテーションに臨みました。

参加した佐賀大学生は4年生で、全員が博士前期課程に進学する予定です。提供された話題から共通的・地域的課題に接し、今後の研究へのモチベーション向上や留学への興味に繋がる国際交流の第一歩となったようであり、今後の卒業研究ならびに修士研究での活躍が強く期待されます。また、本セミナーは情報交換の場として教員にも有益な機会であり、国際共同研究や協働教育に繋がる話題も多く、新しいプログラム開設に向けて準備が進められる予定となりました。



講義（対面会場）の様子



ワークショップでの大学紹介



最終プレゼンにのぞむ本学の学生